

2026年3月期 財務概要

デジタルハリウッド大学

2026年3月期の収支状況

当年度の収入は1,820百万円となり、前年度に比べ24百万円減となりました。これは、数年来にわたり標準修業年限で卒業する学生の割合が高い水準を維持したことで、留年者数が微減したことなどによるものです。この減収は学生の学修成果がもたらした適正な結果であり、在籍数自体も適正な水準を維持しております。なお、修学支援新制度の授業料等減免による支弁者の費用負担の安定などもあり、授業料等の納付は引き続き堅実に推移し、高い納入率を維持しております。

当年度の支出は1,435百万円となり、前年度に比べ39百万円減となりました。組織体制の強化に伴い、大学部門人件費は4百万増となりました。人件費以外の費用については、主として広報関連費用の見直しを行ったことにより66百万の減となりましたが、学生の学びの質の向上に資するカリキュラムや学事の充実などの施策は、引き続き積極的に運用しております。また、家計が悪化した学生への経済的支援として、大学独自の学費減免・奨学金の支援は従前と同水準で継続しております。設置会社管理部門の費用配賦は、各種見直しによる増減のほか、設置会社全体における大学部門の売上構成比の変動に伴う配賦率の調整等により、23百万の増となりました。

以上の結果、収支差額比率は前年度より1.2ポイント上昇、収支差額は385百万円となりました。

本学は、中長期構想「DHU 2030 ProtoDesign」に基づき、2026年4月に就任した藤井直敬新学長のもと、学生が自らの未来を設計する力を育む教育環境のさらなる充実と、合言葉である「世界を満たせ。/ Fill the world.」の実現に向けた、積極的な学校運営を展開してまいります。

- ・中長期構想 DHU 2030 ProtoDesign <https://www.dhw.ac.jp/visionbook/>
- ・学長メッセージ <https://www.dhw.ac.jp/feature/message/>

過去5期間の推移（単位：百万円）

項目	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
収入	1,627	1,697	1,796	1,844	1,820
支出	1,517	1,480	1,484	1,474	1,435
大学部門人件費	369	346	331	351	355
大学部門人件費以外	922	943	960	903	837
管理部門人件費(配賦)	57	56	42	59	75
管理部門人件費以外(配賦)	166	134	150	159	166
収支差額	110	217	311	370	385
収支差額比率	6.8%	12.8%	17.3%	20.0%	21.2%

本表における支出適用方法について

本学は2004年（平成16年）に構造改革特別区域法に基づく規制の特例措置として認定され、文部科学省の認可を受け設立した株式会社立大学です。設置会社のデジタルハリウッド株式会社では、監査法人による外部監査のもと年度決算を確定しております。また、事業部制により各事業部・グループごとの会計を行っております。本表では、文部科学省への設置計画履行状況報告の際に用いた支出配賦方法に基づいて算定と表記を行っております。

- ・設置会社の部門は、収益部門と管理部門に分けられます。大学は収益部門となります。
- ・管理部門の経費について、期間ごとに大学の収入（会社会計では売上高に分類）が設置会社全体の売上高に占める割合に基づき配賦率を定め、大学運営に必要な間接経費として期間ごとに配賦しております。

以上